

道

2026・1・21

通信

No 1864



トウガラシ

本日の練習 6時30分～ 岡野中学 清水先生 小坂先生

ざわめけバイカル 長い道を この道 リンゴの花咲く頃 青葉の歌

次回 1/28 (水) 練習 6時30分～ 岡野中学 小坂先生 二宮先生 3部全曲持参

中山先生の追悼演奏会が、いよいよ明後日となりました。

石田さんの丁寧な事前説明で頭の中では理解できたものの、初めての会場にドキドキしているのは、私だけではないでしょう。

ポーレの「ポーリュシカ・ポーレ」はあっという間に終わります。

続いて「百万本のバラ」です。いつもはアンコール定番で最後の最後ですね。ちょっといつもとは違う感覚です。

続いて「シベリアの密林で」は、4分の3拍子と4拍子が交互にきます。こちらも計算にいれながら、先週確認したように歌って下さい。

昨日中山先生の奥様とお電話でお話ししました。中山先生がいかに合唱団「道」を愛して下さったか、話して下さいました。また一年半変わりなく、続けて「道」通信をFAXで、送ってくださる朝倉さんに大変感謝されていました。本当に頭が下がる嬉しいお話しでした。合唱団「道」万歳＼(^ ^)／

今回MCで触れますが、私は早坂(先生)さんから伴奏のバトンを受け取り、二宮先生に繋がります。

清水先生、今回は二宮先生と代表して行って参ります。上手くいくように当日、我々に応援パワーを送って下さいね。駅の階段で躓かないよう気をつけていきましょう。

小坂幸世

明けまして…は、もう遅すぎますね。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

夫中山が亡くなってからも毎週『道』通信を送って頂いています。皆様のご活躍が拝察でき、私も励まされています。

20年ほど前だったでしょうか。青梅市でドラマーの若者達と私達アコーディオンサークルのメンバーと一緒に演奏をする機会がありました。

サークルの講師だった中山は自己紹介の時、「僕がご一緒している合唱団の皆さんは、みなとみらいホールいっぱいのお客様の前で素敵な歌を歌っていますよ。」と、満面の笑みを浮かべて語っていました。『道』の皆様と一緒に歌を作り上げていくことが、とても誇らしかったのだと思います。

私にはふたつの願いがあります。皆様がこれまで「我が歌」として育ててこられた歌の数々を次の世代の若い方達に、是非、継承していただきたいのです。異国の文化・芸術から学び、感じとったものは本当に貴重な心の財産となり得る力を持っていると思うからです。

そして、もうひとつ。皆様が実践していらっしゃる、心から楽しみながら歌を歌うという人生の時間の使い方を若い方達にも教えてあげてください。去年の定期演奏会では、頼もしい若者達が演奏のお手伝いをされていました。『道』の皆様が培われた大切な歌を引き継ぐ人達がここにいる!!と、胸踊る思いでした。

今月23日、四谷区民ホールでの「中山英雄を偲ぶコンサート」への皆様のご参加とご協力に、心から感謝してお礼を申し上げます。

大田光子